施設名称	概要・留意事項
園庭	・地上園庭とし定員数および受入可能園児数を考慮したうえで、500㎡以上の面積を確保
	すること。なお、面積については600㎡以上が望ましい。
	・職員から死角となる部分をできる限り減らし、園児の安全が十分に確保されるような配
	置および形状とすること。
	・園児がのびのびと自由に遊ぶことができるスペースを可能な限り広く設けること。
	・形状については可能な限り正方形または長方形が望ましい。
	・園舎からの避難経路を確保し、緊急車両や建物メンテナンスのための車両が園庭や園舎
	近くまで進入できる配置および構造とすること。
	・降雨時においても排水性を保つこと。
	・園庭内には、手洗い場、足洗い場、水遊び場、花壇、菜園、動物の飼育小屋等の豊かな
	保育環境が期待できるような施設・設備を設けること。
遊具等	・安全面および遊具等の利用状況を想定し、鉄棒、すべり台、ぶらんこ、雲梯を各1基以
	上設置すること。
	・砂場は1箇所以上設置し、夏季の遮光対策としてパーゴラ等の屋根を設置すること。
	・築山を砂場と隣接しない場所に設置すること。
プール	・常設で水面積30㎡程度のものを1箇所設けること。
	・保育室およびトイレとの動線を考慮すること。
	・プールに近接して備品を収納する場所を確保すること。
	・プール使用時の遮光および外部からの視線に配慮すること。
	・プールサイドは、緊急的な着替え場所や簡易な荷物置場としての使用も想定したものと
	することが望ましい。
倉庫	・教材や備品等、また行事の際に必要な物品等を収納可能な十分な広さをもった収納倉庫
	を2棟以上設けること。なお、倉庫の規模は1棟あたり12㎡以上とすること。
	・園内菜園等の実施を想定し、用具等が収納可能な十分の広さをもった園芸用品専用の収
	納倉庫を1棟以上設けること。なお、倉庫の規模は1棟あたり12㎡以上とすること。
	・配置場所については、保育環境への影響を最小限に抑えたうえで、敷地内の樹木や植栽
	とのバランスに配慮すること。
駐輪場	・20台程度の駐輪場を確保すること。
	・送迎時における混雑の解消が期待できるような配置および形状とすること。
	・可能な限り園舎に隣接した配置とすること。
	・形状については可能な限り正方形または長方形が望ましい。
	・雨天時にも利用しやすいよう庇を設けること。
送迎用スペー	│ │・園庭面積への影響を最小限に抑え、雨天時においてもスムーズに園舎へ移動可能な配置│
	および形状とすること。
ス	・車両のスムーズな進入および退出が期待できるようなロータリー形式等の進入出口を設
	け、周辺交通混雑の緩和を図ること。

- ・正門は1箇所とし、園児の飛び出し防止措置を講じること。
- ・公園との敷地境界は、フェンス等の設置により明確に設定したうえで周囲からの見通し を確保すること。
- ・保育園の園庭と公園については可能な限り隣接していることが望ましく、その場合、隣接部には可動式の柵や十分な広さの出入り口を1箇所設置したうえで、園庭と公園の一体利用を図ることが可能な状態とすること。

その他施設

- ・正門および公園敷地への出入り口とは別途、避難経路として使用可能な出入り口を1箇 所以上設けること。
- ・各出入り口については、十分な幅をもったうえで園児が単独で開閉できないよう危険で ないものとすること。
- ・敷地の外周には外部からの進入防止のため、十分な高さのフェンス等を設置すること。
- ・隣接民家等と隣接する部分については特に、防音・視線等に配慮したフェンス等を設けることが望ましい。
- ・園舎の子育て支援室における活動等の子育て支援に関する情報を地域の子育て家庭へ提供するため、A3ポスター2枚程度を雨天時でも張り出せる掲示板を設置すること。